
表示ルール の 操作

すべてのユーザーができる 表示ルールを作成します。

表示ルールは、フィルタリングのセットに使用されます。表示ルールはデータを **変更** しません。これらは、セットの一部であるレコードを読み取り、条件に基づいてレコードをフィルターで除外するためにのみ使用されます。フィルタリングプロセスの結果は、元の/フィルタリングされたセットのサブセットである新しいセットが作成されます。詳細については、[検索クエリとセットの管理](#) ページの [フィルタリングのセット](#) を参照してください。

MARC書誌レコードには表示ルールが使用され、Dublin CoreレコードにはXML表示ルールが使用されます。

以下のセクションでは、表示ルールを作成およびテストする方法について説明し、ワークフローに組み込む例を示します。

- [表示ルールの作成](#)
- [テスト表示のルール](#)
- [MARC表示ルールの構文例](#)
- [XML表示ルールの構文例](#)
- [フォームベースの指示ルール](#)

Note

表示ルールはリソース管理コンテンツタイプにのみ関連付けられます。

Note

表示規則を使用してパイプ(|)の存在を識別することはできません。

さらに、セットを使用する他の機能領域の表示ルールを作成できます：

- アイテムのない所蔵レコードの削除ジョブ - [アイテムのない所蔵レコードの削除](#) を参照してください。
 - [一般公開プロファイル] ([リソース] > [公開] > [プロファイルの公開] > [プロファイルの追加] > [一般プロファイル]) - [レコードのフィルター](#) を参照してください。
 - インポートプロファイルの詳細 - [使用するデータのフィルタリング](#) を参照してください。
-

Note

Almaのすべてのエリアとワークフローに同じ表示ルールを使用できるわけではありません。

表示ルール の 作成

MDエディタを使用して、表示ルールを作成および管理します。

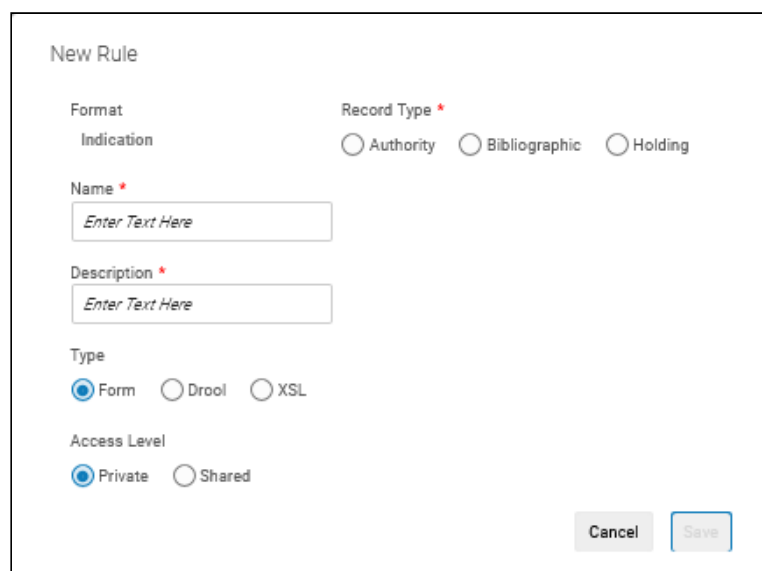
ネットワークゾーンコンソーシアムメンバーの場合、ユーザーは新しいルールをローカルに保存するか、ネットワーク機関に保存するかを制御できます。この選択を行うには、[レコード]または[テンプレート]領域を開き、[新規]>[配置オプション]に移動します。この選択はユーザーごとに行われることに注意してください。

Note

バックスラッシュ (\) は、[正規化ルール](#)として同様の原則により、表示規則とフォームベースの表示規則のエスケープ文字として使用されます。 .

指示ルールを作成する方法

1. MDエディターを開きます。
2. **新規** > **表示**を選択する。表示ルールのプロパティダイアログが開きます。



プロパティダイアログボックス

3. ルールの名前と、他のユーザーがルールの機能を理解するのに役立つ説明を示します。
4. [タイプ]で、ルールをDrool (MARC書誌レコードの場合) またはXSL (Dublin Coreレコードの場合) として作成するかを選択します。
5. ルールをプライベートとして作成するか共有として作成するかを指定します。これにより、表示ルールがどのフォルダに保存されるかが決まります。(プロパティを**変更**して) 共有フォルダに移動する前に、表示ルールをプライベートフォルダに保存し、最初にテストすることをお勧めします。プライベート表示ルールは、**[セットの管理]** ページから呼び出される**[フィルターセット]**機能では使用できません。コミュニティフォルダには、コピーすることで独自の表示ルールを作成できる表示ルールがあります。
6. ダイアログで **[保存]** を選択します。MDデータの編集ペインが表示されます。
7. 以下のようにルールを作成します。
 - MARCレコードの表示ルールを作成することを選択した場合は、表示ルールのDroolsロジックを入力します。表示ルールを作成するときに使用する構文については、[正規化ルール - 構文と例](#) セクションを参照してください。Almaでは以下の表示ルールが提供されています。

MultiTitleIndication.dslr	BriefIndication.dslr
<pre data-bbox="245 216 743 457"> drools/MultiTitleIndication.dslr rule "Multi 245" when existsMoreThanOnce "245" then set indication."true" end </pre> <p data-bbox="245 489 698 516">提供されている表示ルール（複数のタイトル）</p> <hr/> <p data-bbox="266 579 318 604">Note</p> <p data-bbox="266 623 920 648">このルールでは、コントロールフィールドの条件は存在しません。</p>	<pre data-bbox="979 258 1474 562"> drools/BriefIndication.dslr rule "Brief 050 042 subjects" when ((not existsControl "LDR.{17,1}. ") AND (not existsControl "LDR.{17,1}.1") AND (not existsControl "LDR.{17,1}.2") AND (not existsControl "LDR.{17,1}.4") AND (not existsControl "LDR.{17,1}.7")) OR (not exists "050") OR (not exists "042") OR (not exists "6**") then set indication."true" end </pre> <p data-bbox="979 594 1409 619">提供されている表示ルール（簡易的な件名）</p>

その他の例については、[表示ルールの構文例](#)を参照してください。

Note

ルールに複数のブール演算子を含めることはできますが、多数のブール演算子を選択すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。したがって、ブール演算子は各ルールあたり200個以下に収める必要があります。

- 。 Dublin Coreレコードの **XML**表示ルールを作成することを選択した場合は、表示ルールをXML形式で入力します。

8. [保存]を選択します。

テスト表示のルール

実際に表示ルールを使用してセットをフィルタリングするジョブを実行する前に、MDエディタ内でルールをテストすることができます。

Note

表示ルールと正規化ルールは両方ともテストモードで機能します。

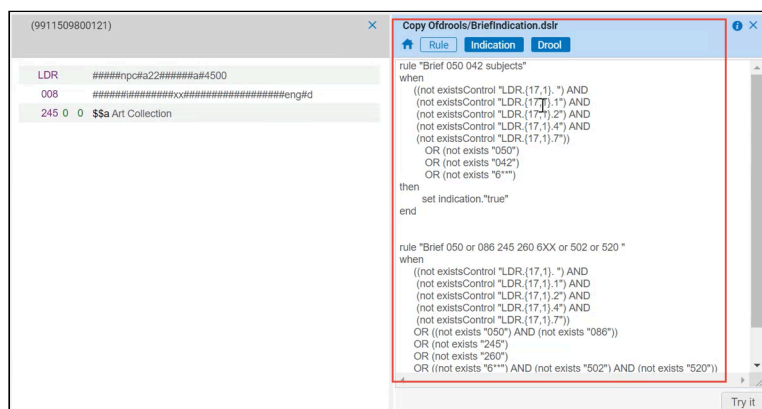
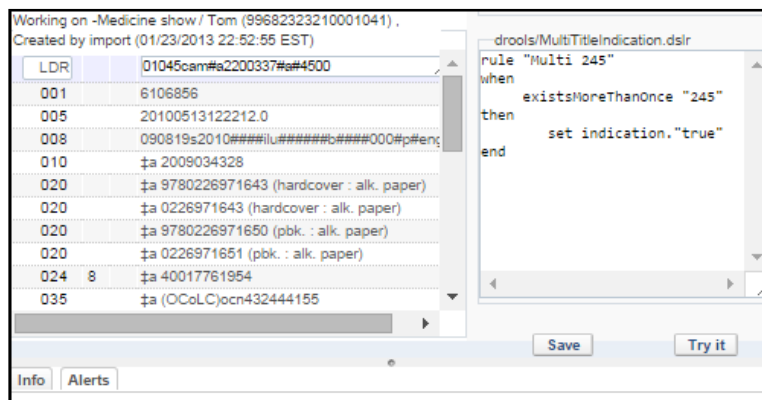
作成した表示ルールをテストする方法

1. MDエディタで書誌レコードを開きます。
2. を選択します



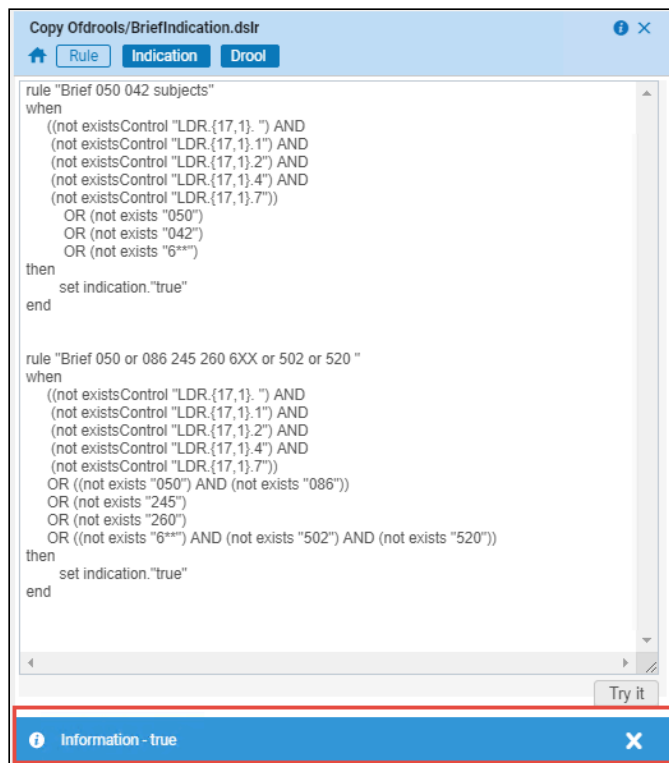
編集画面の分割表示。

3. 左側画面の〔ルール〕タブを選択し、〔表示ルール〕フォルダーを展開します。
4. テストするルールを〔プライベート〕または（コミュニティではない）〔共有〕フォルダに設置します。ルールを選択して、アクションのリストを表示します。
 - 〔編集〕
 - 〔削除〕
 - 〔CZに投稿〕
 - 〔複製〕
 - 〔プロパティ〕
5. 〔編集〕を選択します。表示ルールは書誌レコードの横の分割画面で開かれます。



分割画面で表示ルールを開く

6. 〔試す〕を選択します。結果に応じて、ポップアップが表示され、TrueまたはFalseの応答が表示されます。これは、書誌レコードが表示ルールのDroolロジックに一致したかどうかを示します。



表示ルール - 試行応答

MARCレコードの表示ルール - 構文例

表示ルールの構文の例は、以下および[Alma表示ルールの例](#)に記載されています。詳細については、[条件](#)を参照してください。

Note

特定の用語を検索するルールでは、アスタリスクを使用して正確な用語を検索します。サブフィールドに用語以外に何かが含まれている場合、アスタリスクがない限り、サブフィールドはそれを検索しません。アスタリスクは用語の最後に配置するだけでよく、最初に配置する必要はないことに注意してください。

```

rule "130|a|Bible."
when
  exists "130.a.Bible*"
then
  set indication."true"
end

```

`exists "130.a.Bible"`という行は「等しい」検索として機能するため、サブフィールドに用語以外の何かが含まれている場合、アスタリスクがない限り、それは見つかりません。

例1

949フィールドに\$aを含むセット内のレコードを識別します。

```

rule "Contains 949 with subfield a"

```

```
when
exists "949.a.*"
then
set indication."true"
end
```

例2

\$0 (サブフィールド0) に1XXや6XXまたは7XXを含むセット内のレコードを識別します。

```
rule "Contains a 1XX or 6XX or 7XX subfield 0"
when
((exists "1**.0.*") OR (exists "6**.0.*") OR (exists "7**.0.*"))
then
set indication."true"
end
```

例3

65で始まるフィールド (650や659など) に\$0 (サブフィールド0) を含むセット内のレコードを識別します。

```
rule "Contains a 65X subfield 0"
when
exists "65*.0.*"
then
set indication."true"
end
```

Note

表示ルール作成時にワイルドカードとして使用する場合、フィールドタグ内の各数字に1つつアスタリスクを付けます。

例4

600、630、650、659などの6で始まるフィールドに\$0 (サブフィールド0) を含むセット内のレコードを識別します。

```
rule "Contains a 6XX subfield 0"
when
exists "6**.0.*"
then
set indication."true"
end
```

例5

複数の300フィールドがあり、それぞれにサブフィールドを持つすべてのレコードを取得します。

```
rule "Retrieve all records which contain two subfield a occurrences in 300"
when
```

```
existsMoreThanOnce "300.a"
then
set indication."true"
end
```

例6

フィールド630および650に重複するサブフィールドxおよびzを持つすべてのレコードのセットを作成します。

```
rule "Find duplicates 630 and 650"
when
recordHasDuplicateSubfields "630,650" "xz" ".,",
then
set indication."true"
end
```

表示ルールのその他の例については、開発者ネットワークの[Almaの表示ルール例](#)ページを参照してください。

DCレコードのXML表示ルール - 構文例

以下は、XML表示ルールの構文例です。

例1

以下は、レコードにdc:subjectフィールドがある場合に、Trueを返すXSL表示ルールの例です。

```
<xsl:stylesheet version="2.0" xmlns:xsl="http://www.w3.org/1999/XSL/Transform"
xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/" xmlns:dcterms="http://purl.org/dc/terms/">
<xsl:output method="text" encoding="UTF-8"/>
<xsl:template match="/">
<xsl:variable name="indication" select = "boolean(//dc:subject)" />
<xsl:value-of select="$indication" />
</xsl:template>
</xsl:stylesheet>
```

例2

以下は、レコードのdc:subjectフィールドがTheologyにしい場合にfalseを返すXSL表示ルールの例です。

```
<xsl:stylesheet version="2.0" xmlns:xsl="http://www.w3.org/1999/XSL/Transform"
xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/" xmlns:dcterms="http://purl.org/dc/terms/">
<xsl:output method="text" encoding="UTF-8"/>
<xsl:template match="/">
<xsl:variable name="indication" select = "not(boolean(//dc:subject='Theology'))" />
<xsl:value-of select="$indication" />
</xsl:template>
</xsl:stylesheet>
```

例3

以下は、レコードのdc:creatorフィールドまたはdcterms:creatorフィールドがTolstoyを含む場合にtrueを返すXSL表示ルールの例です。

```
<xsl:stylesheet version="2.0" xmlns:xsl="http://www.w3.org/1999/XSL/Transform"
xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/" xmlns:dcterms="http://purl.org/dc/terms/">
<xsl:output method="text" encoding="UTF-8"/>
<xsl:template match="/">
<xsl:variable name="indication" select = "boolean(//dc:creator[contains(.,'Tolstoy')]
or //dcterms:creator[contains(.,'Tolstoy')])" />
<xsl:value-of select="$indication" />
</xsl:template>
</xsl:stylesheet>
```

フォームベースの表示ルール

すべてのユーザーができる 表示ルールを作成します。

蔵書票は、MARC形式で表示ルールを作成することができ、構造化されたフォームを使用して、プロセスを容易で実施しやすいものにします（この新しい機能は既存の機能に加え、MARC形式でDroolルールを作成し、DC形式でXMLルールを手動で作成します。両方とも 変更なしのままです）。表示ルールの詳細については、[表示ルールの操作](#)を参照してください。

構造化されたフォームでは、ウィザードのようにさまざまなフィールドとサブフィールドおよび値を入力することができ、タグとタグ名を入力する際、ポップアップによるサポートを行います。ルールを作成すると、ルールをデプロイする前に、構造化フォームを使用してルールが期待どおりに機能しているかテストできます。

Note

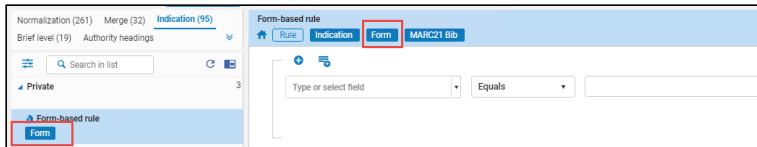
この機能はデフォルトで無効になっています。あなたの機関で有効にするには、[カスタマーサポート](#)にご連絡ください。

制限事項

- 現在、MARC21およびUNIMARCフォームベースの表示ルールのみ作成することができます。
- 現時点では、フォームベースのルールはセットのフィルタリングにのみ使用できます。また、表示ルールを使用する他のワークフローでもフォームベースのルールを使用できる機能はロードマップにあり、将来的に追加される予定です。

新しいフォームベースの表示ルール

「フォーム」タイプの表示ルールが導入されました。このタイプには、他の表示ルールと同じルールアクションがあります（新しい、編集、消去、複製、**CZ**に投稿するなど）。新しいフォームベースのルールを作成すると、このルールはメタデータエディタでバッジ「フォーム」を受け取ります。



フォームベースの表示ルールを作成

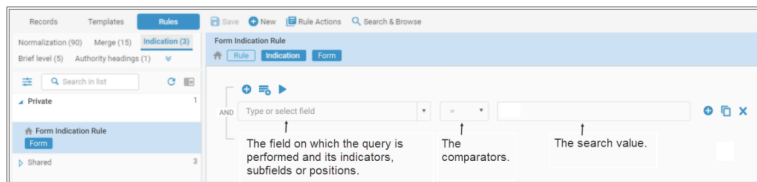
フォームベースの表示ルールを作成するには：

1. メタデータエディターを開く > ルール範囲
2. **新規 > 表示**を選択する。表示ルールのプロパティ ダイアログが開きます。

3. [名前]の下にルールに名前を付け、[説明]の下に（任意で）他のユーザーがこのルールの機能を理解できるよう説明を入力します。
4. [タイプ]ドロップダウンで、ルールをDrool（MARC書誌レコードの場合）として作成するか、XML（Dublin Coreレコードの場合）として作成するかを選択します。
5. [アクセスレベル]で、ルールをプライベートとして作成するか共有として作成するかを指定します。これにより、表示ルールがどのフォルダに保存されるかが決まります。（プロパティを**変更**して）共有フォルダに移動する前に、表示ルールをプライベートフォルダに保存し、最初にテストすることをお勧めします。プライベート表示ルールは、**[セットの管理]**ページから呼び出される[フィルターセット]機能では使用できません。コミュニティフォルダには、コピーすることで独自の表示ルールを作成できる表示ルールがあります。
6. [レコードタイプ]に基づいて、ルールを使用して書誌レコード、**権限レコード**、または保有レコードのセットを作成するかどうかを選択します。
7. [フォーマット]で、セットのタイプのレジストリを選択します。使用可能なオプションはシステムでアクティブなフォーマットによって決まります。
8. ダイアログで **保存** を選択します。MDデータの編集ペインが表示されます。
9. メタデータエディターの右側のパネルで、以下の [適応規則の構成](#) セクションによってルールを構成します。
10. **[保存]** を選択します。

適応規則の構成

フォームベースの表示ルールを作成すると、その条件を構成できるパネルが開きます。表示ルールは、1つ以上の条件で構成できます。



手動またはシステムサポートによる表示ルールを作成

次のいずれかの方法で表示ルールを作成できます。

- クエリが実行されるフィールドの情報を手動で入力します。
- ポップアップサポートを使用して目的のフィールドの選択を支援する。ポップアップサポートは、システムで定義されたメタデータプロファイルから情報を引き出します ([目録の構成](#)を参照)

情報を手動で入力するには：	ポップアップサポートを使用するには：
<p>1. 条件の最初のフィールドで、目的のフィールドタグを入力します。 Almaは、必要な数のインジケータ、位置、およびサブフィールドのプレースホルダーをアスタリスク (*) の形式で自動的に入力します。形式はフィールドごとに異なります。</p> <p>2. アスタリスクを目的のインジケータ、位置、サブフィールドに手動で置き換えます。</p> <p>例：</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div>	<p>1. 条件の最初のフィールドで、フィールドの右側にある矢印をクリックします。</p> <p>2. 開いたドロップダウンに、タグまたは名前についての説明の一部または全部を入力します。</p> <p>3. 入力した情報に一致するフィールドを提案するポップアップが開きます (一致は、ルールの形式とレジストリに従って、ルールに関連するプロファイルを使用して行われます)。目的のフィールドを選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>4. [完了] を選択します。</p>

フォームベースの表示ルールのフィールドの定義

さまざまなタイプのフィールドには、さまざまなルール構文が表示されます。

表示ルールのフィールドを定義するには：

- 条件で、フィールドを次のように定義します。

フィールドタイプ	このタイプの入力フィールド
<p>制御フィールド 001/003/005/009</p>	<p>制御フィールド001/003/005/009を入力するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドのタグを入力します（またはポップアップサポートを使用して選択します）。 2. 必要な比較基準を選択します。 3. フリーテキストを入力します。 
<p>他のすべての制御フィールド</p>	<p>他の制御フィールドを入力するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドのタグを入力します（またはポップアップサポートを使用して選択します）。 2. LDR、006、007、または008フィールドを入力する場合は、[位置]ドロップダウンで、関連する位置を選択し、[完了]を選択します。  <ol style="list-style-type: none"> 3. 必要な比較基準を選択します。 4. フリーテキストを入力します。
<p>データフィールド - メタデータプロファイルにないフィールドを含む（例：ローカルで定義されたフィールド）</p>	<p>データフィールドを入力するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドのタグを入力します（またはポップアップサポートを使用して選択します）。 2. 目的のインジケータとサブフィールドを選択し、[完了]を選択します。 3. 必要な比較基準を選択します。 4. フリーテキストを入力します。

フィールドタイプ	このタイプの入力フィールド
	

Note

- 。 インジケータ/サブフィールドに何も値を指定しない場合、コンディションではこれが「*」と表示され、Almaでは「任意の値」として解釈されます。
- 。 インジケータに空の値（未定義）を指定するには（それが可能なフィールドにおいて）、'#' 値を入力します。
- 。 [値]フィールドにテキストを入力すると、Almaはテキストの検証を試みません。これにより、データ修正のための無効な値を選択できます。

2. さらに条件または条件のグループを追加するには、以下の[表示ルール](#)の操作を参照してください。
3. ツールバーの保存するを選択して表示ルールを保存します。

フォームベース 表示ルール をテストする

表示ルールを使用してセットをフィルタリングするジョブを実行する前に、ルールが希望どおりに機能しているか検証することをお勧めします。そうでない場合は、もう少し編集を試行してください。ルール全体をテストしたり、ルール内の条件の1つのグループのみをテストしたりすることができます。

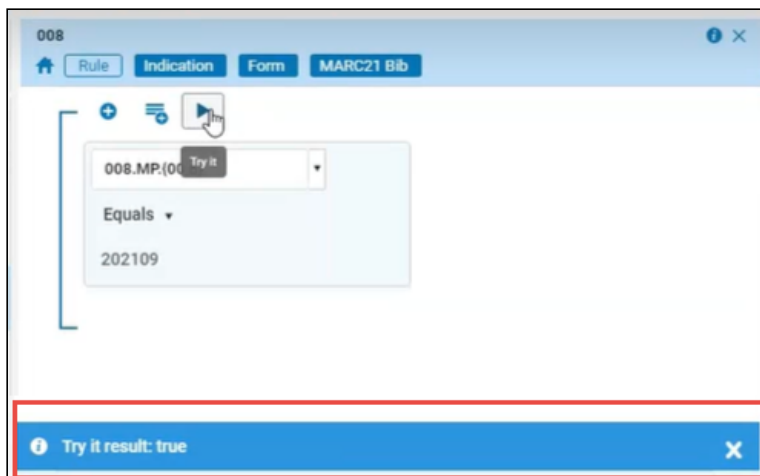
表示ルールをテストするには：

- 。 ルールを作成して保存したら、をクリックします





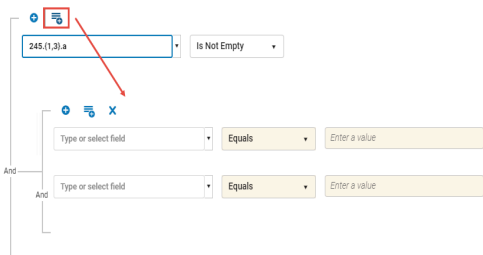


上のルール。

結果に応じて、書誌レコードが表示ルールのロジックに一致するか否かを示すtrueまたはfalseの応答が含まれるポップアップが表示されます。



フォームベース表示ルール の操作

オプション	説明
<p>ルールに条件を追加するには</p>	<ul style="list-style-type: none"> 別の条件を追加するためには、条件の上に  があります。  が条件の右側にあり、この条件を複製します。次に、必要に応じて新しい条件を編集します。
<p>ルールに条件のグループを追加するには</p>	<p>表示ルールを作成する際、個別の条件を追加したり、条件のグループを作成したりすることができます。選択する  条件ラインの上に  があり、必要な数の条件を追加します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>ただし、追加できるフォームベースルールの条件のネストされたレベルは3つまでであることに注意してください。</p> <hr/> 
<p>検索条件のグループ間の関係を変更する方法</p>	<p>ベースライン条件はデフォルトでAND関係になります。つまり、検索されたアイテムを取得するには、各条件がtrueでなければなりません。条件のグループを追加するときに、グループ内の関係をORに変更できます。この場合、これらの条件のいずれかがtrueであれば、書誌レコードが取得されます。</p> <p>ルールに含めたフィールドのみがレコードの取得に使用されることに注意してください。ルールに含めなかったフィールドは取得に影響しません。つまり、任意の値を持つレコードはこれらのフィールドで取得されます。</p> <p>条件の間のブール演算子をクリックします。ANDとORのフラグがリストの一番上に表示されます。フラグをクリック</p>

オプション	説明
	<p>ックして、このタイプの 関係を選択します。これらのフラグの表示を停止するには、ブール演算子をもう一度クリックします。</p>  <p>Note</p> <p>表示ルールに複数のブール演算子を含めることはできますが、多数のブール演算子を選択すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。したがって、ブール演算子は各ルールあたり200個以下に収める必要があります。</p>
条件を削除する方法	条件の右側のXを選択して、ルールから削除します。